

シングル自在水栓..... A1070

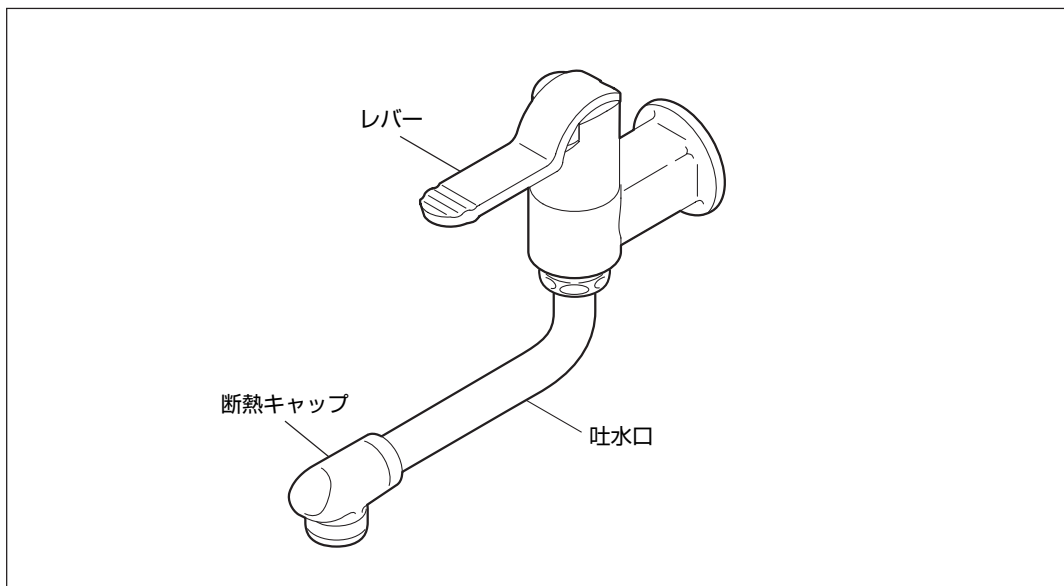
施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 工事店様へ...施工後、この説明書をお客様へお渡しください。

(株)三栄水栓製作所 本社 〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お問合せ先 ☎大阪 (06) 6976-8661 ☎東京 (03) 3683-7496

各部の名称

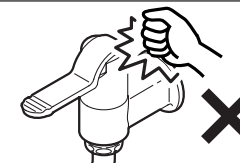


〈使用上の注意事項〉

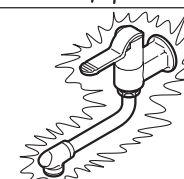
⚠ 注意



器具に乗ったり、強い衝撃を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをめらす
財産損害発生のおそれがあります。

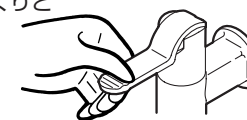


(寒冷地の場合)
凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜
操作を行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそ
れがあります。
(参照:寒冷地用の水抜方法)



レバー操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事があり
ますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがありま
す。

ゆっくりと



漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認してください。

〈施工上の注意事項〉

⚠ 注意



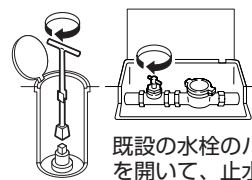
(寒冷地の場合)
凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結が予想される
地域は寒冷地用の器具を選定してください。(参照：寒冷地用の水抜方法)



給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

器具の取付け

1 止水栓を閉めます。



既設の水栓のハンドル
を開いて、止水の確認
をします。

2 既設の水栓をはずします。



水栓レンチ
PR36(別売)

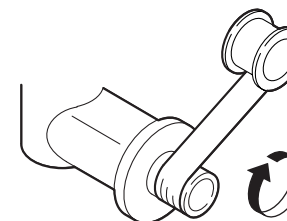
3 配管内の掃除をします。



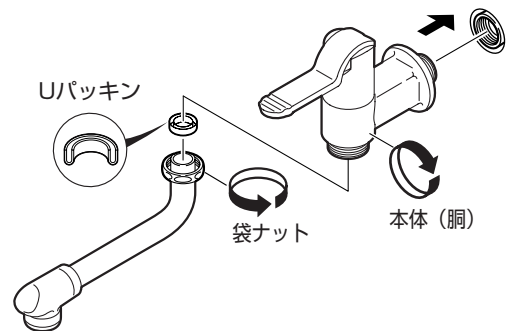
配管内のシールテープくずや
ゴミをきれいに取除きます。

4 新しい水栓の取付ねじにシールテープを巻きます。

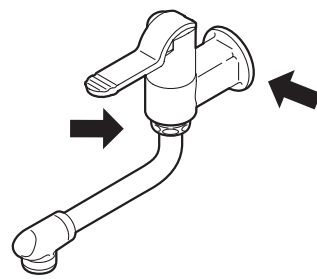
ねじに向かって右向きに、5回
程度少し引張りながら、ねじに
くい込むように巻きます。



5 配管に本体を取付けます。
本体（胴）部分を持って配管に固定します。



6 止水栓を開いて水もれをチェックします。
接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。水もれがある場合は、もう一度ははじめからやり直してください。

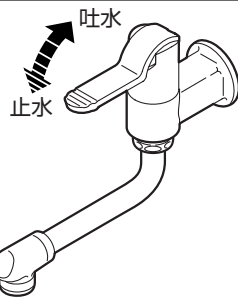


ご使用について

使用方法

吐水・止水

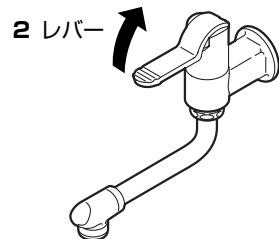
レバーを上げると吐水し、下げると止水します。
吐水量は上げるほど多くなります。



寒冷地用の水抜方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜栓を操作する。
- 2 レバーを中央位置で上げる。



お手入れ

●メッキ部分（金属製品）

やわらかい布で拭き、時にはミシン油やカーワックスを適量にしみこませた布で拭いてください。

●樹脂部分（プラスチック製品）

やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みの おそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



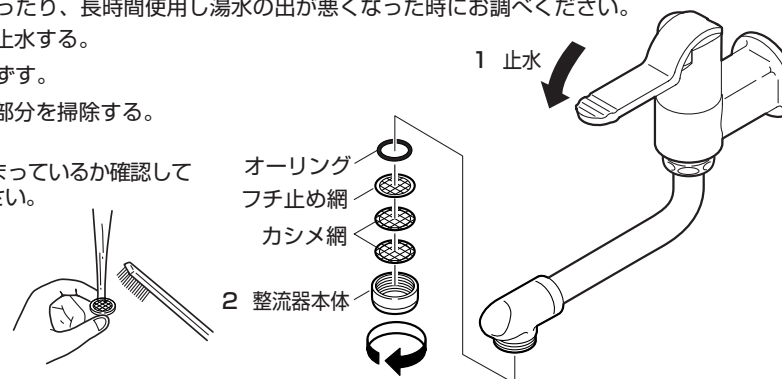
吐水口の掃除

近所で水道工事があつたり、長時間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 レバーを下げ、止水する。
- 2 整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。

再使用时

整流器本体がよく閉まっているか確認してから、通水してください。

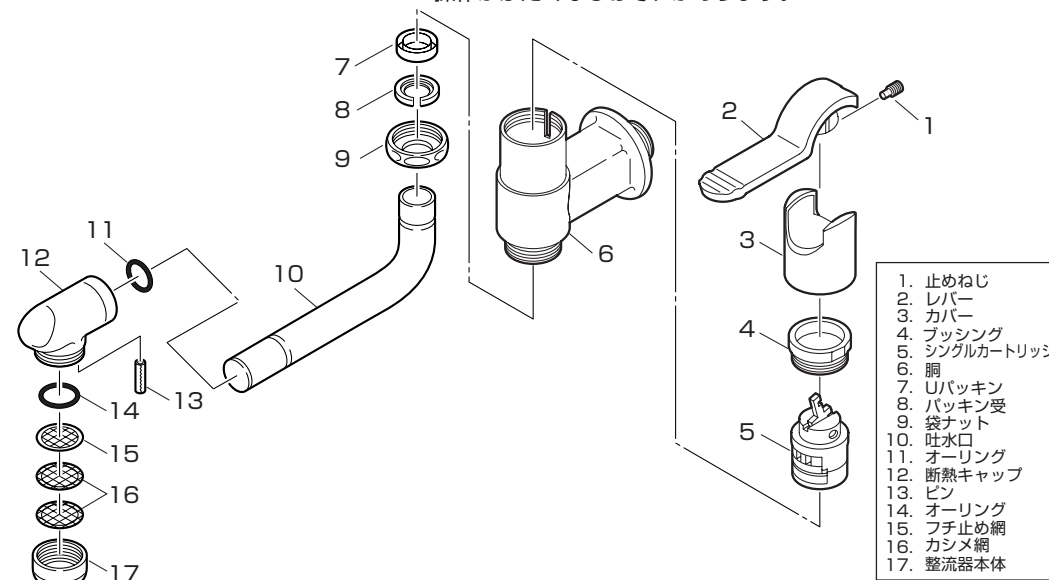


故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ② ③
水が止まらない。	③
レバーを閉じてても水がもれる。	③

- ① 止水栓は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：吐水口の掃除
- ③ カートリッジのゴミかみは。……………器具への給水を止め、レバーを分解し、カートリッジのゴミかみがあれば取除き、傷があれば部品を交換する。
(注)組付時、プッシングは締付けすぎないでください。操作がかたくなるおそれがあります。



1. 止めねじ
2. レバー
3. カバー
4. プッシング
5. シングルカートリッジ
6. 胴
7. Uパッキン
8. パッキン受
9. 袋ナット
10. 吐水口
11. オーリング
12. 断熱キャップ
13. ピン
14. オーリング
15. フチ止め網
16. カシメ網
17. 整流器本体

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですが販売店（工事店）にご依頼ください。